

会員の皆様へ

今年度の体制は、次ページからの通りです。メンバーは昨年度と同じですが、電話番号やFAX番号に一部変更がありますので、ご注意下さい。なお、来年度以降の体制および規約について提案を行なうことが宿題になっております。

会計報告につきましては、会告をご覧ください。お陰様で、前納金を含めると、赤字がほとんどなくなりました。なお、「根ハンドブック」の黒字分は、研究会の特別会計(新設)に寄付し、今後の研究集会やシンポジウムの援助に使っていきたくと考えております。

「根の研究」の原稿を募集しております。根研究会には、多くの人材と多くの題材がありますが、適当な時期に原稿をお書き頂くことがなかなか難しく、編集委員長が自ら責任をとって書かなければならないような状況になりました。研究、総説、報告、紹介なんでも結構ですので、是非、「根の研究」に原稿をお寄せ下さい。

「根ハンドブック」は500部作りしましたものが、残り150部を切っております。次号の「農業および園芸」でも新刊案内としてご紹介頂くことになっておりますので、品切れになる前に早めにお求め下さい。

朝倉書店からの出版計画があります。「根ハンドブック」が今年中に品切れになることが予想され、その後のことを検討している最中に、この際全面的に大改訂を行なったものを出さないかというお話を朝倉書店から頂き、その方向で検討を始めました。項目を増やすとともに全体の構成を全面的に見直し、引用文献も付して専門家向けのものを目指す予定で、編集委員会を作り、構成案の作成に着手したところであります。「根ハンドブック」とは別のものとなりますし、完成までには1年以上の時間がかかり、値段も相当高くなると思われまので、少なくともそれまでは現行版の「根ハンドブック」をご利用下さい。

J S R Rシンポジウム：第1回：国際誌のPlant and Soilの165巻2号に、一部が掲載となりました。残りを含めたプロシーディングを研究会として発行する予定で、現在、編集集中であります。第2回：プロシーディングを博友社から出版する予定で、現在、編集集中であります。第3回：プログラムがかたまってきました。本号に日本人招待講演者の要旨を掲載しました。外国人招待講演者の要旨は2号あるいは3号に掲載予定です。

「ファイトテクノロジー研究会」から、合同で研究集会などを計画しようという呼び掛けを頂きました。実現する方向で努力していきたくと考えております。

「農業および園芸」の連載「植物の根に関する諸問題」が回数を重ねてきましたので、現在までに印刷となりました分をまとめて、この号でご紹介することにしました(前回予告しながら掲載できず、失礼いたしました)。なお、原稿をお書き頂ける方は、事務局までご連絡下さい。

会員の皆様の根や根を取り巻く環境に係わる論文、総説などの別刷(1990年以降に印刷となったもの)を事務局までお送り下さい。適当な時期に「根の研究」でご紹介させていただきます。

インターネットの利用の試みを開始いたしました。会告をご覧のうえ、ご利用下さい。

1995年3月 会長 森田茂紀